

やまだのうすいほぜんかい 山田農水保全会 (上田市)

・組織の活動面積	A = 15.26 ha
・組織の構成員数	約 50 人

組織形態	共同活動	中山間直接支払	向上活動
取組開始年度	平成19年～	-	-

構成員	農業者、山田自治会、山田育成会、塩田西小学校PTA
-----	---------------------------

組織の概要

「信州の鎌倉」と呼ばれる塩田平地地域の西方に位置し、国宝安楽寺三重塔や厄除け観音として名高い北向観音などが存する別所温泉に隣接する地域です。塩田平地地域は、全国でも有数の寡雨地域のため、戦国時代末期から多くの農業用ため池が築造されました。

地区内には、塩田平地地域でも有数の貯水量を誇る山田池(貯水量約26万m³)があり、その受益地である水田は、昭和54年から平成2年にかけてほ場整備を実施しており、それらの農地や農業用施設を保全する活動を中心にを行っています。

また、地区の中心には塩田西小学校があり、小学校PTAと連携を図りながら、小学校周辺の農道へのマツバギクの植栽や管理を行っています。

山田地区の農村環境を次世代につなぐ



山田地区のほ場



山田池



塩田西小学校

活動の状況

水路の目地詰め



地区内の基幹水路である新堰(しんせんげ)の老朽化に伴う目地の補修作業です。

約1kmの水路を6～7名で行い、およそ1日かかりました。

塩田西小学校周辺の農道脇へのマツバギクの植栽



保全会の活動がスタートしてから、毎年マツバギクの植栽を行っています。現在では、延長約150mにわたり、植栽、草刈り、周辺の清掃などを、PTAと連携して行っています。

【山田農水保全会だより(第9号)】

平成24年4月30日 山田農水保全会だより 第9号

『山田農水保全会』活動継続決定する

平成24年度の活動をもち、5年間の活動を終了しました。24年以降も引き続きの活動が必要であるという事で先日の臨時総会において継続が承認され、新正・前会長は2024年4月1日より活動を再開しました。前会長は平成19年のスタートより現在の組織活動の基盤づくり・定着、発展に尽力いただきました。ここに前会長と副会長の退任、後任に就任いただいたことをお祝いいたします。

退任のあいさつ

山田農水保全会 前会長 金井純一

山田農水保全会活動は平成19年より24年3月31日まで、5年間の活動を終りました。活動期間であれば、自会会員の有志な有志が、技術役員、役員の皆様には、この期間支障なく活動を続けていただけるとは思いますが、活動期間を終了し、また山田農水保全会の活動が、地域に定着し、発展を遂げることができて、大変うれしく思います。山田農水保全会が、地域に定着し、発展を遂げることができて、大変うれしく思います。

山田農水保全会活動は、地域の農業者、農地、水環境の保全と向上を目指して行ってきました。活動期間を終了し、また山田農水保全会の活動が、地域に定着し、発展を遂げることができて、大変うれしく思います。

【協定対象区域】

協定の対象となる資源

- 農用地
- 開水路
- パイプライン
- 農道
- ため池
- 遊休農地
- 農村環境保全活動

長い間となつた山田池上の新堰水路の維持、目地詰め、除草作業、手回しポンプの設置など、山田農水保全会が主体的に取り組んでまいりました。山田農水保全会が、地域に定着し、発展を遂げることができて、大変うれしく思います。

山田農水保全会活動は、地域の農業者、農地、水環境の保全と向上を目指して行ってきました。活動期間を終了し、また山田農水保全会の活動が、地域に定着し、発展を遂げることができて、大変うれしく思います。